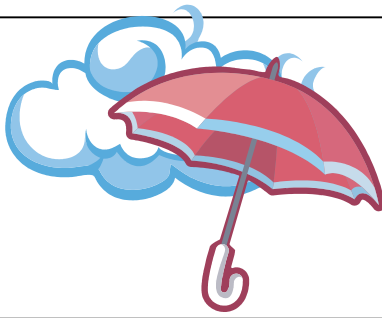


産地 直送便



発行（農）山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2009.6.1 発行
責任者 星 隆之

お米は生鮮食品です お米の保管・管理に気をつけて下さい

梅雨の時期～夏にかけて「お米の保管・管理」が重要

◎保管場所は、直射日光の当たらない所、高温多湿を避けて風通しの良い場所に保管して下さい。可能な場合は密閉出来る容器に入れて冷蔵庫に保管して下さい。

- 梅雨の時期は、湿度が高くお米には厳しい環境となります。
- 夏になると日中お留守の間、お部屋の気温はグングン上がります。夜は冷房などでお部屋の気温はグッと下がります。この温度・湿度の差もお米には大敵。
☆カビなどの発生に注意しましょう。

◎お米の継ぎ足しはやめて下さい。

- 米びつの隅に残った米糠などは、虫がよってくる原因となります。
- ☆新しいお米を米びつにあける際、必ず掃除して清潔にしましょう。
- ☆お米が大好きな虫、コクゾウムシに注意しましょう。

◎皆様にお届けしている産直米の種類

～特別栽培白米、玄米、胚芽米と特選コシヒカリ～

☆特別栽培米・・・化学合成農薬：当地比 7 割減、化学肥料：当地比 5 割減

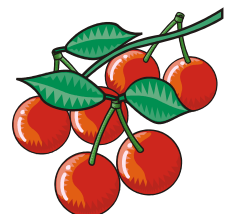
～有機栽培白米、玄米、胚芽米～

☆有機栽培米・・・無農薬、有機肥料 100%使用(JAS 表示米)

お米は生鮮食品です。この時期は、特に保管管理に気をつけて下さい。
また、早めに食べきることをおすすめ致します。

☆虫よけ対策に「鷹の爪」をご利用下さい。

山形特産さくらんぼのお届けは6月下旬～7月初めの予定です。
今しばらくお待ち下さいませ。



5月14日に、毎年恒例となってきました『田んぼの生きもの調査』交流田で花の植栽活動を行いました。今年も、当センター青年部とこぶしの会(地元婦人部)15名程で行ないました。

乾燥がちな場所には〈芝桜とフロックス〉を、年中湿度が高めな畔には〈アジュガ〉を、そして花壇には〈ルドバキアとガゼニア〉を植えました。

交流会が行なわれる夏から秋にかけては、草丈40cm程になって苺安色(かりやす色)を咲かせるルドベキアと、人参色や柑子色(こうじ色)のガゼニアが目を楽しませてくれます。来年の田んぼ仕事が始まる頃、牡丹色の芝桜、藤紫色のフロックス、群青色のアジュガの花が咲いてくれることでしょう。

植栽した花に注目することによって、背後に広がる田んぼの美しさと生きものが暮しやすい環境に改めて気づいて頂ければと思います。

『田んぼの生きもの調査』『交流会』などに参加頂いた際には、ぜひ交流田周辺の花々で心和ませて頂ければと思います。



飯豊町 お花とお米の生産者
青年部 小林 努

※かりやす色=明るい黄色

あきたまの氷無月

米 田植え・・・有機栽培米、特別栽培米の場合、丈夫で大きな苗に育ててから田植えを行ないます。慣行栽培(普通栽培)より1週間程度遅く5月下旬～6月上旬に田植えを行います。

除草・・・有機栽培で一番大変なのはなんと言っても除草です。米糠散布と深水を駆使した除草や、再生紙をしいてその上に田植えをする「紙マルチ」などで草に対抗します。また、田んぼの生きものの力を借りて草を抑える事が出来るように研究をすすめています。

くだもの 6月は山形特産のさくらんぼの季節です。結実調査(実のなり具合調査)を行った結果、開花時期の天候の悪さからか例年と比べるとやや少ない状況です。6月下旬～7月上旬まで収穫・出荷されます。

やさい きゅうり・おかひじきなどの野菜が引き続き収穫、出荷され夏野菜のトマト・つるむらさきなどの収穫・出荷が始まります。6月の『あきたまBOX』にさくらんぼや、旬の野菜がたくさん入ります。